

# スライドドア金具SRS型 施工説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
 本製品を正しく安全にご使用いただくため、この説明書をよくお読みのうえ、説明にしたがって間違いない施工を行ってください。  
 また施工後は、ご使用になる方へ本書をお渡しください。

- 警告** この表示を無視、あるいは以下の注意事項をお守りいただけなかった場合、破損等により死亡や大けがなどの人身事故の原因となるおそれがあります。
- 注意** この表示を無視、あるいは以下の注意事項をお守りいただけなかった場合、正しい組み立てができないばかりでなく、事故等によりけがをしたり家財に損害を与えるおそれがあります。

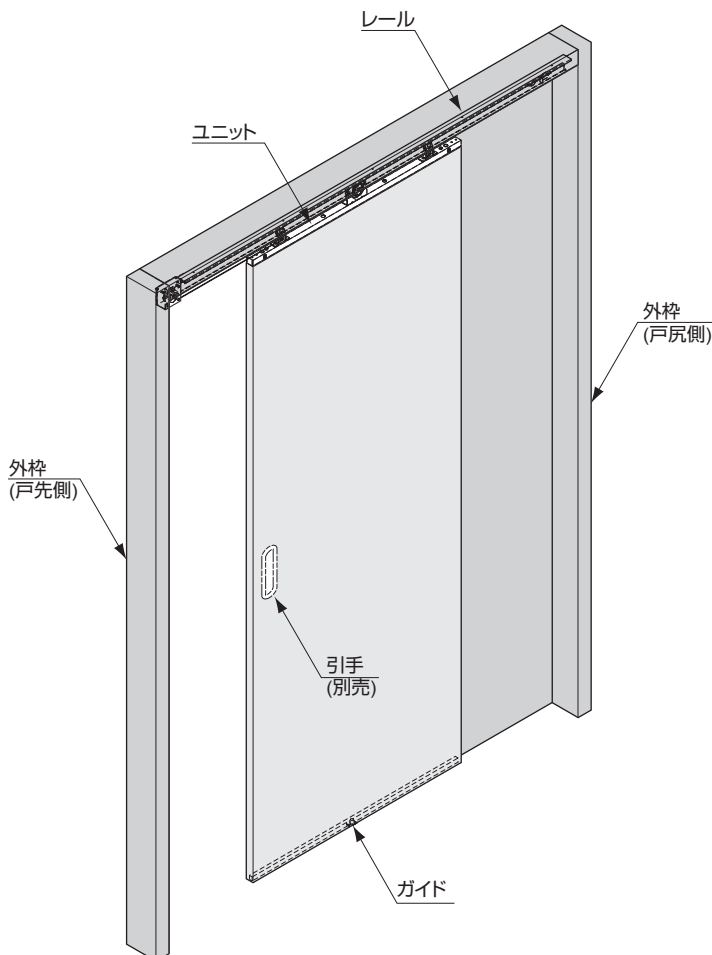
## ■施工上の注意

- 注意**
  - ・指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ずお守りください。枠、ドアの反り、傾きねじれは故障や、本来の動きに影響が出るおそれがあります。
  - ・一般住宅の室内用ドアとしてお使いください。他の用途へのご使用はおやめください。
  - ・丁番は、施工後の調整ができないため、枠の調整はしっかり行ってください。
  - ・各部の取り付けには必ず、手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバー等を使用しますと、ねじの締め込みすぎ等により部品が破損する等、本来の機能を失うおそれがあります。

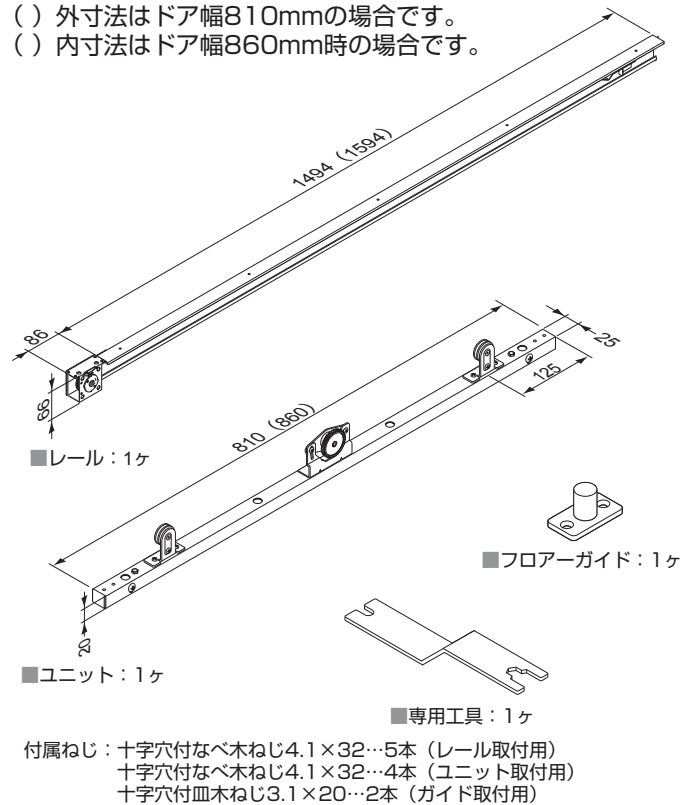
## ■使用上の注意

- 注意**
  - ・ドアの開閉は静かに行ってください。乱暴に扱うとドアを破損したり、脱落するおそれがあります。
  - ・ドアにぶつかったり、もたれたりしないでください。ドアを破損したり、脱落するおそれがあります。
  - ・ドアに指を挟まないよう、引手を持って正しく操作してください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。
  - ・ストーブ等の熱源を近付けないでください。ドアが反り、製品本来の動きを妨げるおそれがあります。

## ■部品構成 (本図は右引きを示します。左引きは勝手違いとなります。)



注) 個々の部品は説明図のため、縮尺が異なります。  
 ( ) 外寸法はドア幅810mmの場合です。  
 ( ) 内寸法はドア幅860mm時の場合です。

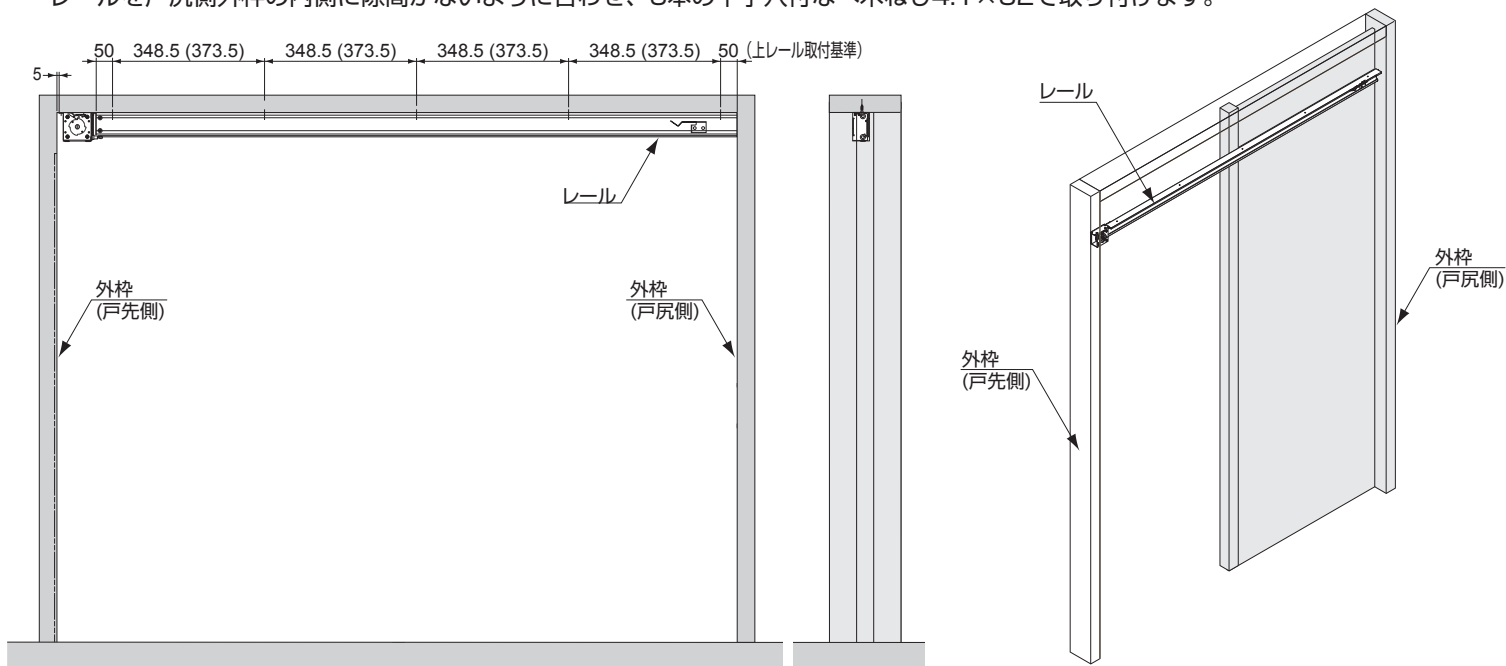


## 別途ご用意頂くもの

- 掘込引手：2ヶ  
 (スガツネ：掘込引手3921型など)

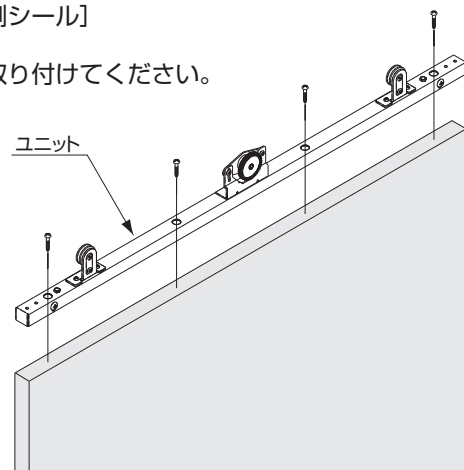
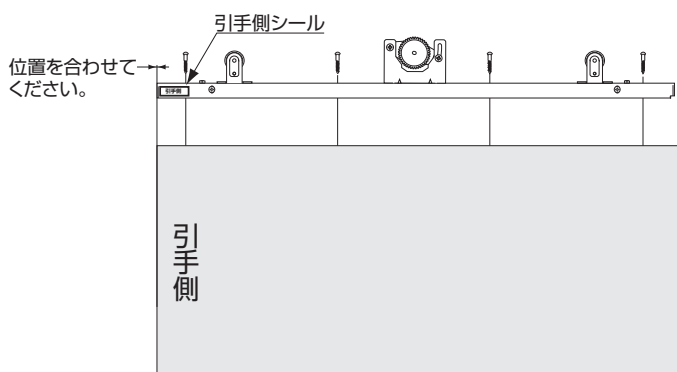
## 手順1. レールの取り付け (本図は右引きを示します。左引きは、勝手違いとなります。)

- ・下図の ( ) 外寸法はドア幅が810mmの場合。 ( ) 内寸法はドア幅が860mmの場合です。以下の説明も同じです。
- ・レールを戸尻側外枠の内側に隙間がないように合わせ、5本の十字穴付なべ木ねじ4.1×32で取り付けます。



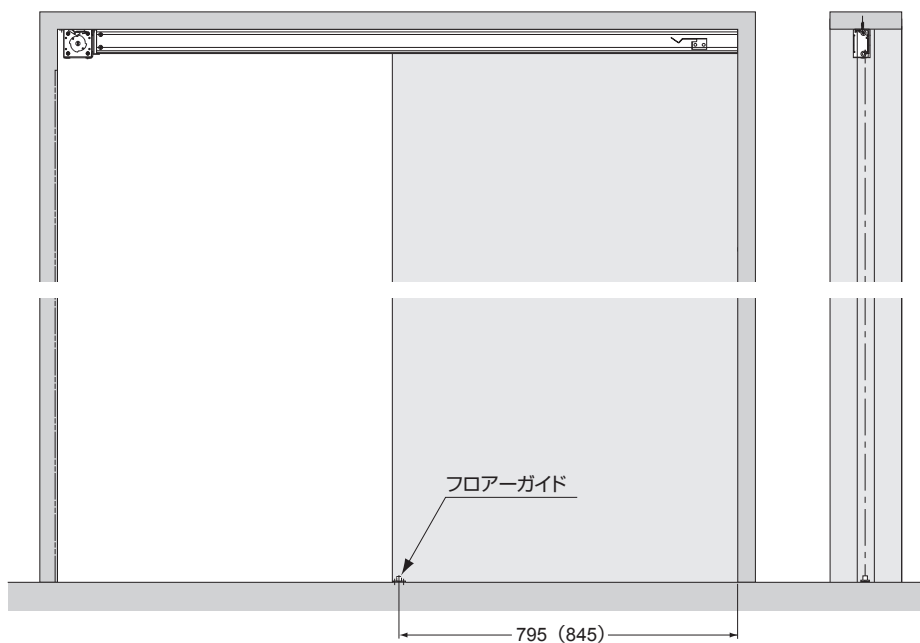
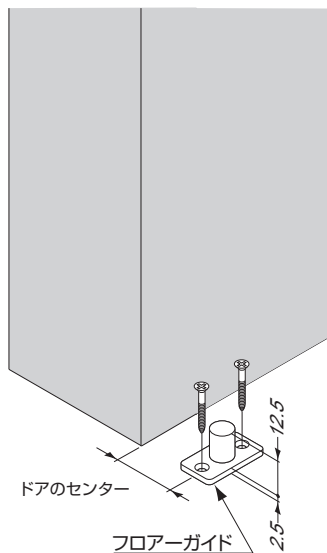
## 手順2. ユニットの取り付け

- ・図のように、ドア上部へユニットを取り付けます。その際に、ユニット側面の [引手側シール] が前面になるよう4本の十字穴付丸木ねじ4.1×32で取り付けます。ユニットは、ドア厚の中心に、ドア戸先側の木口面とユニットが面位置になるように取り付けてください。



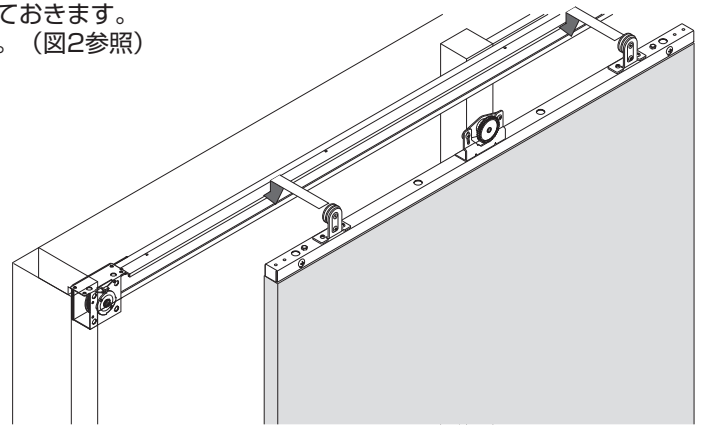
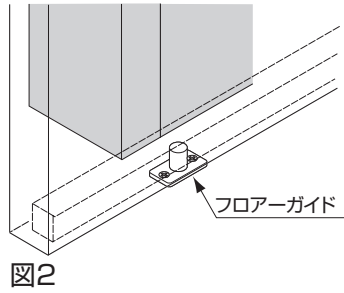
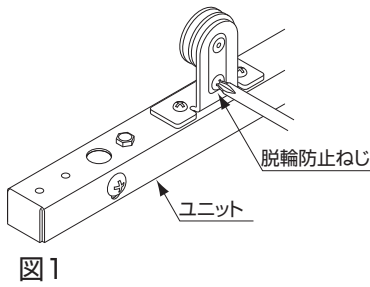
## 手順3. フロアーガイドの取り付け

- ・右図を参考にフロアーガイドを2本の十字穴付3.1×20皿タッピンねじで取り付けます。



## 手順4. ドアの吊り込み

- ・吊り込みやすくするため、あらかじめユニットの脱輪防止ねじを緩めておきます。
- ・ドア下の加工溝を床のフローアーガイドに合わせ、ドアを吊り込みます。(図2参照)
- ・緩めた脱輪防止ねじは手順6を終了後増し締めします。

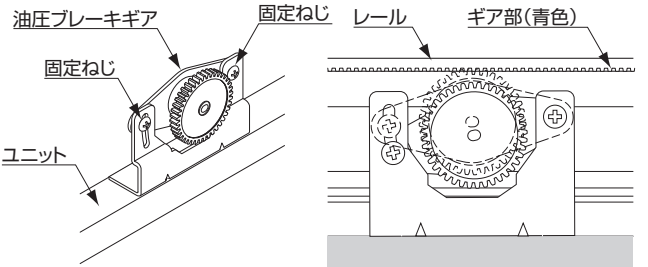


## 手順5. 油圧ブレーキのセット方法

- ・ユニット上にある油圧ブレーキギア2本の固定ねじを緩めます。
- ・レールのギア(青色の樹脂)部とかみ合わせ、滑らかに動く位置で調整ねじを締め込み、固定します。

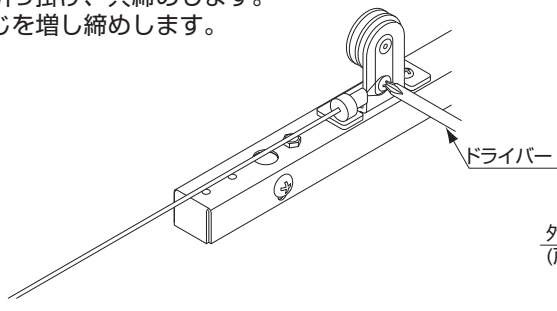
### △注意

- ・油圧ブレーキギアをレールに無理に強く押し付けると、ドアが閉りにくくなります。
- ・かみ合わせを深くすると、ギアどうしの音鳴りが発生することがあります。音鳴りが発生した場合は、0.5から1ミリ程度かみ合わせを浅くしてください。



## 手順6. ワイヤーの取り付け

- ・図のように、戸先側のユニットの脱輪防止ねじを緩め、バネ機構本体のワイヤーをねじに引っ掛け、共締めします。
- ・戸尻側の脱輪防止ねじを増し締めします。

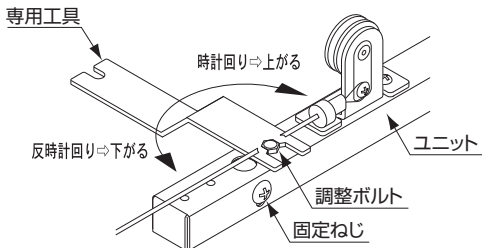


## 手順7. 各部の調整

### ■ ドアの上下(傾き)調整 (調整可能範囲: 出荷時位置から-6mm)

ドアを開閉して、ドアと枠が当たる場合は、ドアの傾きを調整してください。

1. ユニット側面の4本の固定ねじを緩めます。
2. 調整ボルトを専用工具で回し調整します。  
調整ボルトを時計回りに回す→ドアを上げる。  
調整ボルトを反時計回りに回す→ドアを下げる。
3. ドアの建付けを確認してください。  
再度調整が必要な場合は、2の手順を繰り返してください。
4. 調整後、4本の固定ねじを全て締め付けてください。



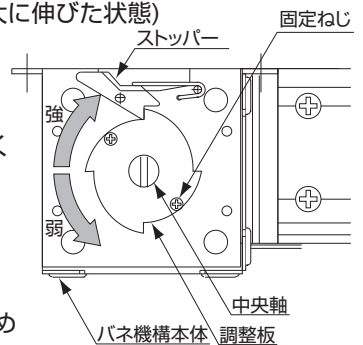
### ■ バネ機構本体の自閉速度調整

△注意 自閉速度は仕様範囲内で設定されています。閉まる速度があきらかに問題がある場合以外は絶対に調整しないでください。

1. ドアを全開にして固定します。(ワイヤーが最大に伸びた状態)
2. 調整板の2本の固定ねじを抜いてください。
3. 自閉速度を調整します。  
速くする。→中央軸を『強』方向に回す。  
遅くする。→ストッパーを押し上げ、中央軸を『弱』方向に90°づつゆっくり回す。

△注意: 回転範囲は左右5回転までです。それ以上回転させると、故障します。

4. 自閉速度の確認をしてください。再度調整が必要な場合は、3.を繰り返してください。
5. 調整後、調整板を固定ねじ2本でしっかりと締め付けてください。

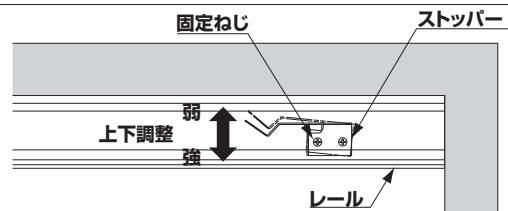


### △注意

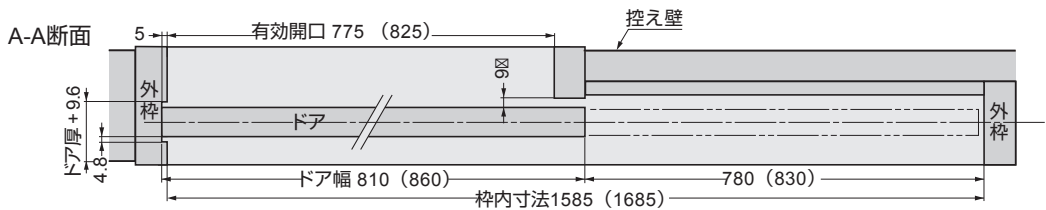
弱の方向に調整するとき、ストッパーに調整板が引っ掛かるように中央軸を90°づつマイナスドライバーで回してください。ストッパーを外してマイナスドライバーを溝より離すと、バネが一気に回転し戻るため故障します。

### ■ ストッパーの強弱調整

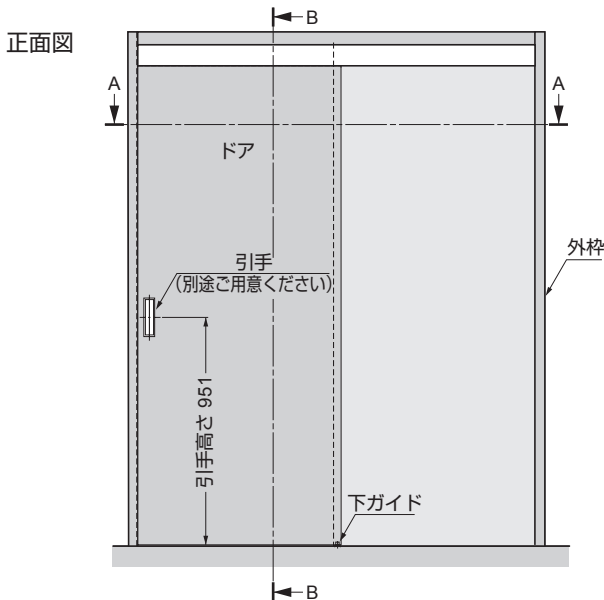
1. ストッパーを固定している2本のねじを緩めてください。
2. ストッパーの上下を調整します。  
強く→下にさげる。  
弱く→上にあげる。
3. 固定ねじ2本を締め込んでください。
4. 掛かり具合の確認を行ってください。



## ドアの納まり寸法 (本図は右引きを示します。左引きは、勝手違いとなります。)



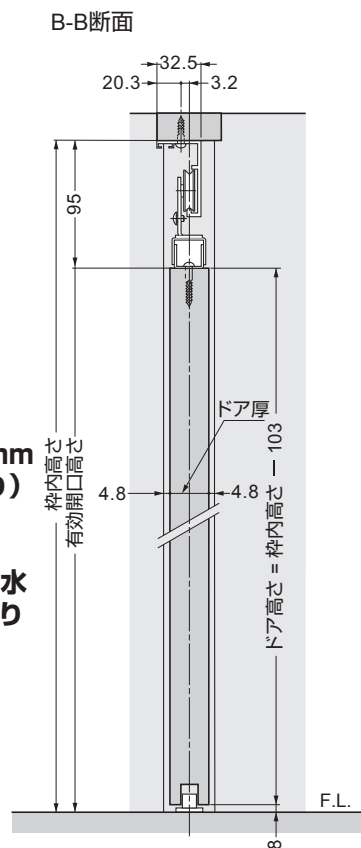
( ) 外寸法はドア幅810mmの場合です。( ) 内寸法はドア幅860mm時の場合です。  
 ※ 寸法は、ドア厚が28.4mmの場合の寸法です。ドア厚が増えますと、空き寸法が少なくなります。



### 仕様

ドア幅 : 810mmまたは860mm  
 ドア質量 : 30kgまで (1枚当たり)  
 ドア厚さ : 28.4~36mm

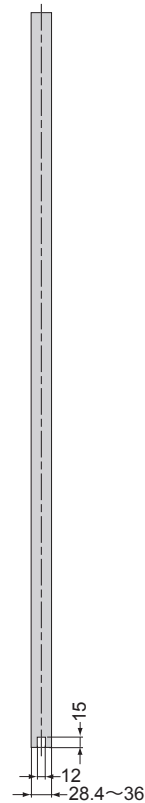
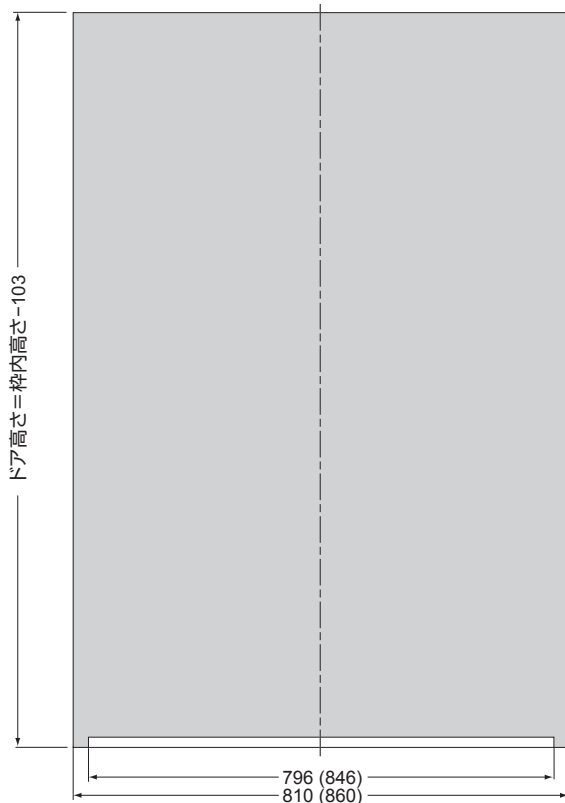
注) 指定寸法に誤りがないか、各部の水平、垂直が出ているか、ドアの反りはないかを必ずご確認ください。



## ドアの加工寸法

( ) 外寸法はドア幅810mmの寸法です。( ) 内寸法はドア幅860mm時の寸法です。

山路を登りながら



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいたします。

電話番号 03 (3864) 1122

受付時間 月~金 9:00~17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

**SUGATSUNE** スガツネ工業  
 LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録  
 ※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点 ※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)  
<https://www.sugatsune.co.jp/>

2019.03 0157-4